（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程　国際自動車工学科 1年次）2024年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法を理解する。	1通	42		○			○		○		○
○			シャシ	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容及び重要性を理解する。	1通	50		○			○		○		○
○			電装	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を理解する。	1通	46		○			○		○		○
○			自動車整備士の力学・数学	自動車整備に必要な力学・数学の基礎を理解する。	1通	24		○			○		○		
○			電気・電子理論	自動車電装に関係する電気の基本と回路について習得する。	1通	28		○			○		○		
○			材料	自動車材料の特徴・鉄と鋼・非鉄金属材料の特徴を理解する。	1前	9		○			○		○		
○			燃料・潤滑剤	ガソリン・軽油、エンジンオイル、潤滑剤の役割を理解する。	1通	22		○			○		○		
○			図面	図面の名称、図面の大きさ及び様式、製図に用いる線、図形の表し方、図面の見方を理解する	1後	5		○			○		○		
○			日本語教育	日本での生活、就業するために必要な日本語を習得する。	1通	184		○			○		○		
合計				9科目	必須時間（　410　時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	１学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程　国際自動車工学科　１年次）2024年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン整備実習	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法実習にて理解する。	1通	130				○	○	△	○		○
○			シャシ整備実習	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容を実習車にて理解する。	1通	132				○	○	△	○		○
○			電装整備実習	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を実習にて理解する。	1通	134				○	○	△	○		○
合計				3科目	必須時間（　396時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	１学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）
１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程　国際自動車工学科 2年次）2024年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法を理解する。	2通	46		○			○		○		○
○			シャシ	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容及び重要性を理解する。	2通	62		○			○		○		○
○			電装	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を理解する。	2通	50		○			○		○		○
○			自動車整備士の力学・数学	自動車整備に必要な力学・数学の基礎を理解する。	2通	28		○			○		○		
○			電気・電子理論	自動車電装に関係する電気の基本と回路について習得する。	2通	26		○			○		○		
○			自動車整備に関する法規	自動車整備に関係する法律を理解する。	2通	11		○			○		○		
○			自動車整備の故障原因探究	自動車の故障個所の診断・原因探究・究明方法を勉強する。	2通	16		○			○		○		○
○			機器の構造・取り扱い	工具・整備機器の名称、役割、使用方法を理解する。	2後	8		○			○		○		○
○			日本語教育	日本での生活、就業するために必要な日本語を習得する。	2通	168		○			○		○		
合計				9科目	必須時間（ 415 時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	2学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程　国際自動車工学科 2年次）2024年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ整備実習	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容を実習事に	2通	130				○	○	△	○		○
○			電装整備実習	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を実習にて理解する。	2通	128				○	○	△	○		○
○			基本計測	各整備作業時に必要な計測作業を理解する。	2通	24				○	○	△	○		○
○			自動車検査作業	自動車の点検整備後の検査作業の手順を理解する。	2通	26				○	○	△	○		○
○			故障原因探究実習	自動車の故障個所をいろいろな方法を使い診断していく。	2通	16				○	○	△	○		○
合計				6科目	必須時間（　432時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	2学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程　国際自動車工学科 3年次）2024年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法を理解する。	3通	28		○			○		○		○
○			シャシ	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容及び重要性を理解する。	3通	28		○			○		○		○
○			電装	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を理解する。	3通	32		○			○		○		○
○			自動車整備士の力学・数学	自動車整備に必要な力学・数学の基礎を理解する。	3通	14		○			○		○		
○			電気・電子理論	自動車電装に関係する電気の基本と回路について習得する。	3通	14		○			○		○		
○			自動車整備に関する法規	自動車整備に関係する法律を理解する。	3前	13		○			○		○		
○			自動車検査	自動車が道路を走行するための基準と保安基準に合う点検方法を学ぶ。	3後	24		○			○		○		
○			機器の構造・取り扱い	工具・整備機器の名称、役割、使用方法を理解する。	3後	7		○			○		○		○
○			日本語教育	日本での生活、就業するために必要な日本語を習得する。	3前	120		○			○		○		
合計				9科目	必須時間（ 280時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	3学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式２）

授業科目等の概要

（工業専門課程　国際自動車工学科 3年次）2024年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エンジン整備実習	ガソリン・ジーゼルエンジンに必要な整備方法実習にて理解する。	3通	156				○	○	△	○		○
○			シャシ整備実習	動力伝達（マニュアルトランスミッション、クラッチ）、旋回・走行（ステアリング、サスペンション、ホイールアライメント）、制動装置（ブレーキ）の構造を理解及び12ヶ月定期点検の整備内容を実習車にて理解する。	3通	162				○	○	△	○		○
○			電装整備実習	自動車整備に必要な灯火・点火・充電・開閉・施錠・始動装置の整備方法を実習にて理解する。	3通	164				○	○	△	○		○
○			自動車検査作業	自動車の点検整備後の検査作業の手順を理解する。	3後	30				○	○	△	○		○
○			故障原因探究実習	自動車の故障個所をいろいろな方法を使い診断していく。	3通	18				○	○	△	○		○
合計				5科目	必須時間（ 530時間）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な必須科目の時間数の９０％以上の出席率であること	3学年の学期区分	前後期
	１学期の授業期間	38週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。